

おおだて

令和4年8月1日 145号

市議会だより



石田ローズガーデンの様子
(令和4年6月14日撮影)

令和4年6月定例会 議案等の審議結果	▶ 2
一般質問	▶ 5
常任委員会から	▶ 10
全国市議会議長会表彰	▶ 12
政務活動費の状況	▶ 13
私もひ・と・こ・と	▶ 14

6月定例会の主な議案等の審議結果



令和4年6月定例会は、6月6日から6月23日までの18日間の会期で開催されました。市長提出議案は報告12件、専決処分の承認3件、条例案5件、単行案8件、予算案5件など合計34件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。

専決処分の承認

承 認

認 第 3 号 大館市市税条例等の一部を改正する条例 ほか

条 例 案

原案可決

議案第66号 大館市墓地等の経営の許可等に関する条例

議案第67号 大館市戸別浄化槽の整備に関する条例

議案第68号 大館市特定公共賃貸住宅に関する条例 ほか

上記について、それぞれ一部を改正する条例案

单 行 案

原案可決

議案第70号 大館市長根山運動公園長根山陸上競技場公認改修工事の請負契約の締結について

議案第71号 財産の無償譲渡について

議案第72号 財産の取得について（路面清掃車（ブラシ式）1台）

議案第73号 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車1台、高度救命処置用資機材一式） など

予算案

原案可決

- 議案第77号 令和4年度大館市一般会計補正予算（第2号）
議案第78号 令和4年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第79号 令和4年度大館市財産区特別会計補正予算（第1号）
など

6月定例会に提出された請願・陳情

採択

- 陳情第53号 女性トイレの維持及びその安心安全の確保についての陳情
陳情第54号 国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情
陳情第55号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引き上げをはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について
陳情第57号 地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての陳情

継続審査

- 陳情第56号 沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

継続審査となっていた請願・陳情

採択

- 陳情第25号 公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書の提出要請について
陳情第45号 精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情

不採択

- 請願第3号 秋田犬会館の改修工事への助成について

趣旨採択

- 陳情第38号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出要請について
陳情第44号 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るために国に意見書提出を求める陳情
陳情第46号 安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情
陳情第48号 介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情
陳情第51号 「最低賃金の改善を求める意見書」の採択を求める陳情書
陳情第52号 最低賃金の改善にあたり、「中小企業・零細企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

継続審査

請願第 4 号	地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について
請願第 8 号	扇田病院の無床診療所化に反対する請願書
請願第 9 号	東台地区コミュニティセンター（仮称）の建設について
陳情第 6 号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について
陳情第 8 号	「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について
陳情第 9 号	米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について
陳情第 10 号	臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について
陳情第 30 号	日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
陳情第 40 号	日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
陳情第 41 号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の提出要請について
陳情第 43 号	沖縄防衛局による沖縄本島南部の沖縄戦戦没者の遺骨が混じった土砂の採取計画を止めることを国に要請して求める意見書の提出要請に関する陳情書
陳情第 47 号	人工透析を要する要介護者における介護保険制度の改正について
陳情第 49 号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう国に要請する意見書の提出要請に関する陳情書
陳情第 50 号	ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い

— 大館市議会から意見書を提出しました —

- 公立学校に 1 年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書

《提出先》 秋田県知事、秋田県教育委員会教育長

- 精神保健福祉の改善に関する意見書

《提出先》 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

- 女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書

《提出先》 内閣総理大臣、厚生労働大臣

- 国民の祝日「海の日」の 7 月 20 日への固定化を求める意見書

《提出先》 内閣総理大臣

- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引上げを求める意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

- 地方財政の充実・強化に関する意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

内閣府特命担当大臣（地方創生）、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）

総務省の方針転換による公立病院の経営強化ガイドラインについて 御遺族を支援する窓口の一本化について

相馬 エミ子 議員（市民の風）



ムの再構築も必要と考えている。

〔問〕 大館市における病院事業として望ましい経営形態についての考えは。

〔病院管理者〕 現状の公営企業法の全部適用のほか地方独立行政法人化などが想定されるが、利点と欠点があり、総合的に考慮する必要があると思う。

〔問〕 「地域医療連携推進法人」活用の可能性についての見解を伺う。

〔病院管理者〕 地域医療構想実現の手段の一つではあるが、医療機関等の経営主体が異なることから、ハーフドルが高いと考えている。

扇田病院については将来の人口減少を見据え、資金不足、老朽化問題を解決し、医療と介護の連携により将来の地域の医療体制を維持するため、医療機能の見直しを図りたい。

〔問〕 市長の場合は、地域の医療資源の有効活用、高度医療の提供、必要な人材育成を目指し、当地域の実情に合わせたプラン策定をしたいと考えており、令和5年度末の策定を目指している。

〔問〕 大館市における機能分化・連携強化状況についての評価は。

〔病院管理者〕 これまでの病病連携、病診連携に加え、介護施設との連携、検診事業との連携を進めていることにより、地域包括ケアシステム

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

「物価高騰」による、学校給食費の値上げは行わないこと

笛島 愛子 議員（日本共産党）



「水田活用の直接支払交付金」
カットについて

〔問〕 水田活用の直接支払交付金事業は国の政策だが、この交付金がカットされることは農家にとって死活問題だ。この間、農家の方は減反に転作に協力してきた。それがこの交付金をなくすことは農家への裏切りになるのではないか。何としても継続するよう政府に求めるべきだ。

〔市長〕 交付金見直しについては、秋田県市長会として農家が希望をもつて永続的に営農できるよう、国に要望することとした。本市としても適切な制度設計がされるよう、国に働きかける。

扇田病院の存続について

〔問〕 扇田病院の存続について連続4回目の質問だ。国は、公立病院の統・廃合を「新ガイドライン」で軌道修正した。だから市長は以前の答弁どおり扇田病院は守ると市民に公言するべきだ。

〔市長〕 軌道修正したとするなら厳しい指針として示されたものと認識している。今後も市民が必要とする医療機能を提供する。

カーボンニュートラル社会について、 本市の取組は。その他

柳館 やなぎだて

晃 議員（令和会）



ここから、モラルの向上を望む。

【市長】 不法投棄防止のため、県環境基本条例、ポイ捨て禁止条例及び大館市環境保全条例を踏まえ、啓発看板の設置や道路パトロールの強化に努めている。一方、ポイ捨て行為を防止するためには、ドライバーのモラルやマナーの向上が重要であると考えている。

【問】 カーボンニュートラル社会の実現に向けて、豊かな温泉の熱を利用し、発電や魚介類の養殖、農産物や花の栽培に取り組んではどうか。

【市長】 市では、令和3年2月にゼロカーボンシティを宣言、大館市地球温暖化対策実行計画を策定中である。計画では、本市の森林など豊富な地域資源を活用、脱炭素化社会の実現に向けて、太陽光や木質バイオマス導入の可能性を検討している。

温泉の利用については、源泉温度が低く、熱利用を可能とする新たな技術や事業者とのマッチング等、課題がある。

【問】 バイパス側道等のポイ捨てごみについては目に余るものがある。市は放置ごみの軽減について、なお一層の取組の強化をしてもらいたい。観光都市大館を目指すなら、まずは

- ①扇田病院の民営化に伴う市の負担と職員の処遇
②「民営化等で病院の存続を検討する」より扇田病院を存続させるべきでないか

佐藤 よしだただ
芳忠 議員（市民の風）



ども検討したい。完全に民間でやることも考えられる」としましたが、

民間に委託すれば在宅医療等に影響を及ぼします。総合病院の維持のために市は毎年15億円も出していますが、扇田病院へは2億円しか出しません。大館駅建築と同程度の11億円で老朽化を改善できるのですから、

②扇田病院を改修し、市立の今まで病院を存続させるべきです。

【問】 市立病院を民営化すること

は、當利を求めるない病院を當利を求める民間の病院に委託することです。2年度の実質的赤字は総合が19億8千万円、扇田は2億4千万円でした。

①扇田病院の診療所化スケジュールでは、去年一般病床22床を廃止し今年療養病床42床も廃止するとのことでしたが、まだ廃止されていないと

いうことは、いま検討している扇田病院の公設民営化や民間への譲渡などに繋がるのではないかと危惧しています。

【病院管理者】 具体的な検討はいつもしていませんので、待遇そのた

不明です。

今、具体的に民営化するつていうことについては、一切触れてないです。ですから試算もしていません。

【問】 3月議会で吉原管理者は、

『扇田病院の診療所化は変わらないが病院を残す案として公設民営化な

検索

クリック

一般質問

大館市議会

検索

クリック

【問】 扇田病院は診療所にするのか病院として残すのか。また、残すとしたらその形は市営か公設民営か。

【病院管理者】 市で運営する場合

は、診療所化プラスアルファと言つ

ています。介護分野については、ま

つたく考えてなかつたけども、入院

に変わる介護施設等を考えます。

民営化その他の形態について入院

の有無その他は不明です。

【問】 それならば3月に、どうし

て民営化もありうると答弁したのか。

【病院管理者】 あくまでも市でやるという形ではなくて。

民営化、完全に民営委託などあらゆることを考えますよ。ということで、前回の議会では、説明しました。

現在も行っている「修学旅行」受入れの充実を図り、地域の活性化につなげては

石垣 いしがき 博隆 ひろたか 議員（令和会）



はじめ、他の民間事業者とも連携していく。

「5年で一度の水張り」問題について

〔問〕 水田活用の直接支払交付金の交付対象ルールの徹底に伴う影響を考慮し、国への要望を。また、それに伴い、新たな支援等を行う考えはないか。

〔市長〕 今回の見直しは、地域農業に大きな影響を与えるものと考える。のことから秋田県市長会では国への要望することに決定し、県選出国会議員に対して要望書を提出したところである。関係機関と連携し、生産現場の実情を踏まえた適切な制度設計がなされるよう、国へ働きかける。また、国の動向を注視し、5年以内の短期的な支援と併せて、中長期的な収益向上を目指す取組への支援も検討していく。

〔市長〕 本市への修学旅行の受入れについては、大館市まるごと体験推進協議会において実施している。今後は、少人数でもアウトドアなど体験型旅行への志向も高まっており、野遊びSDGs事業によるグランピング拠点の整備やアクティビティの充実など新たな長期滞在メニューを創出し、大館でしかできない体験を提供できるよう秋田犬ツーリズムを

〔問〕 生産資材の高騰に伴う対策を考え方は、當農継続のために今後の方向性は。

〔市長〕 資材価格の高騰は、農業経営の継続に多大な影響を与えるものと捉えており、農業経営継続対策支援事業を実施している。

一般質問

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

公立病院経営強化ガイドライン

武田 たけだ 晋 すすむ 議員（令和会）



化を求める「経営強化」の視点がより一層打ち出されている。将来にわたりこの地域の医療機能を持続させるための計画策定に取り組む。

ハザードマップの有効利用

〔問〕 小さすぎるハザードマップを、細分化して地域ごとに拡大した製作対応したらどうか。

公立病院経営強化ガイドライン

〔問〕 新たなガイドラインについて

方針転換と表現する新聞記事もあるが、確かに再編・ネットワークの文字が消え、機能分化・連携強化をして役割分担を明確化している。しかし、実は医師・看護師の働き方改革に踏み込み、都道府県の役割・責任をより強化し、企画・財政など他の部署も入れ連携策定する内容であり、以前より厳しいものと考えるが。

〔病院管理者〕 新しいガイドラインについて、「持続可能」「経営強化」の文言が随所に出、「地域医療構想の実現」に加え、「医師などの働き方改革」「平時からの新興感染症対応」をした上で全国の自治体病院に黒字

〔問〕 利用者数が伸び悩む花岡総合スポーツ公園の利用率を高めるため、花矢地区活性化に向けて、スポーツ行事の振り分け開催、産振棟の有効利用など様々な施策が必要。

花岡総合スポーツ公園の利用

〔市長〕 広く地域で活用される施設となるよう地域スポーツの動向やニーズを調査した上で進める。他施設で開催する行事の振り分けや花岡

公民館体育館利用者への呼びかけについて、スポーツに限らず市内の行事やイベントも含めて検討し、利用率向上に努める。

インランドデポ誘致について 斎場跡地の利用について

阿部
あべ

文男
ふみお
議員（令和会）



〔市長〕 雇用創出で若年層の流出抑止に寄与すると考えている。また、機を逃さず企業誘致も積極的に進め。関係機関に働きかけて本構想の事業化を目指し、2025年の供用開始を目指している。

斎場跡地の利用について

インランドデポ誘致について

〔問〕 インランドデポとは、国際貨物の通関手続を内陸で行うことができる物流拠点のことである。手続を終えると外国貨物扱いになるので、港との間の輸送費に消費税が課税されないため、輸送コストの削減になり、流通の効率化が図られる。設置されることになれば、これから的企业誘致においても大変重要な決め手になると思われる。また、若い世代の働く場も確保され、人口の流出を抑えることができると考える。これからの大館駅前開発、今後の企業誘致、若者の働く場確保の面からもぜひ押し進めて欲しい。

〔市長〕 核家族化や少子高齢化などで墓の管理が難しくなってきたこと、寺などでの永代供養は遺族の負担が大きいことなどから需要が高まっていることは理解している。検討したい。

「秋田犬の里」を、市民の憩いの場にするな！！

田村
たむら

儀光
のりみつ
議員（活性大館）



聞く。現在フルシーズン営業の旅館が1軒と季節限定の旅館が1軒営業しているようであるが、県外からの宿泊体験に利用させてもらい、活性化につなげる考えはないか。

〔市長〕 平成25年5月に国民保養温泉地の指定を受けた「大館ぐるみ温泉郷」は市内全域にある温泉の指定であり、全国的に珍しい魅力の発信に努めてまいりたい。提案の

大滝温泉郷の源泉の有効活用については、地元関係者と協議している

ことと考えている。

〔市長〕 ハチ公のふるさと大館の交流拠点の一つとして建設した「秋田犬の里」の運営については、指定管理者制度を導入すると記憶しているが、見通しは。

〔市長〕 指定管理者制度の導入に当たっては、感染症の影響が長期化する中、基準とすべき平時の入場者数などの実績が得られておらず、公募要件を示すことが難しいことから、

もう少し時間がかかると判断してい

る。なお、これまでには、集客イベン

トの開催を控えてきたが、今後はイ

ベントコーナーや芝生広場、多目的

広場等を活用し、民間事業者や関係

団体等との連携によるイベントを開

催する予定である。観光客のみならず市民も巻き込み、にぎわいを創出

してまいりたい。

〔問〕 大館ぐるみ温泉郷の取組について、国民保養温泉地の指定を前面にPRすべきである。また、大滝

温泉では源泉の半分を捨てていると

協議会は、地域の振興・活性化及び

地域全般の課題について提案活動を

行うこと目的に平成21年2月に設立された組織である。田代総合支所

の重要な業務は田代地域の振興であ

り、同協議会の方向性と合致するす

るものである。今後は田代地域の住

民の方々が気概と誇りを持ち続け、

地域の活性化が図られるよう同協議

会とともに取り組んでいきたいと考

えている。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

〔市長〕 事だが、現斎場跡地に合葬墓を設置して再利用を図ってほしい。

〔市長〕 核家族化や少子高齢化な

くなる。また、若い世代の働く場も確保され、人口の流出を抑えることができると考える。これからの大館駅前開発、今後の企業誘致、若者の働く場確保の面からもぜひ押し進めて欲しい。

〔市長〕 企業誘致においても大変重要な決め手になると思われる。また、若い世代の働く場も確保され、人口の流出を抑えることができると考える。これからの大館駅前開発、今後の企業誘致、若者の働く場確保の面からもぜひ押し進めて欲しい。

旧小坂鉄道花岡線の跡地利用について 高館テニスコートへの安全通路として 整備を検討してはどうか

岩本 裕司 (いわもと ゆうじ)
議員 (市民の風)



〔問〕 高館テニスコート利用者の

交通安全やウォーキングなど、生活
道路として維持したままでの整備を
してはどうか。

〔市長〕 花岡線跡地と市道が交差
する区間が2か所あり事故が懸念さ
れ、安全通路としての整備は難しい
と考える。狭隘区間については外側
線をしっかりと明示して安全を図る。
どこのシル伝言板の周知拡大
を望む

〔問〕 行方不明認知症患者の、早
期発見、保護につながるこのシステムの周知を拡大し、御家族の不安を
軽減すべき。

〔市長〕 市広報への掲載のほか、
認知症サポート養成講座などで周
知に取り組んでいく。今後、地域ぐ
るみの見守り活動と市全体の見守り
ネットワークを一層強固なものとし
市民誰もが安心して暮らせるよう取
り組んでいく。

介護施設へ入居する人工透
析患者への支援策について

〔問〕 人工透析患者が施設へ入所
しても安心して治療ができる医療体
制を実現し、患者の安心を図つてい
ただきたい。

〔市長〕 去る5月30日、秋田県市
長会では「人工透析を要する要介護
者の施設に係る新たな加算の創設」
を県選出国會議員に提出したところ
である。医療機関と介護事業所との
連携を図り関係機関と協議していく。

〔問〕 「ふれあい号」の利活用について

〔問〕 各地区の老人クラブのサー
クル活動や親睦のため、交通移動手
段の少ない高齢者のために利活用す
べき。

〔市長〕 全て市が主催、協賛する
行事で、公民館活動や障害者、保育
園児のレクリエーションなどの福祉
関係で80%を占めて利用しており、
一般への貸出しさは、白タク行為に抵
触する可能性があり今後も考えていい
ない。

〔問〕 会計年度任用職員の処遇改
善、雇用安定を図るべき

〔問〕 安定した行政サービスに欠
かせない会計年度任用職員について、
常勤職員との格差是正をし、同一労
働・同一賃金の観点から待遇の改善
を進めるべき。

〔市長〕 給料や報酬の違いについ
ては、責任や権限が異なることから、
同一労働・同一賃金には当たらない
ことを理解していただきたい。雇用
の上限については、国に合わせて2
回まで公募によらず任用している。2

回まで公募によらず任用している。
〔市長〕 本市では令和3年4月1
日から報酬の段階的な引上げを実施

一般質問の全文は、9月中に市のホームページへ掲載
する会議録でご覧いただけます。

市の事業継続計画（BCP）について 消防団の処遇改善について 公用車の適正配置について

齊藤 則幸 (さいとう のりゆき)
議員 (公明党)



し、令和5年4月1日も引き上げる
こととしている。

本市の消防団員の充足率は92%
と県内でも高い水準であり、若い世
代の機能別団員も活躍していること
から、大変心強く感じている。

〔問〕 市の職員数に対し公用車の
台数は適正か。

〔市長〕 除雪車などの特殊車両や
消防関係車両を除くと、5月末現在
で117台を所有しており、新車で
97台で83%、中古車7台で6%、リ
ース車は13台で11%となっている。
所有台数は適正と考えている。

〔問〕 通学路の安全点検は。
〔教育長〕 全通学路の緊急点検を
実施した結果、41か所の危険箇所に
ついて、物理的改善を要する21か所
をリストアップした。11か所につい
て、既に措置が終了し、それ以外の
箇所についても、歩道の新設、車道
外側線幅の拡張を予定している。

一般質問

〔問〕 コロナ禍における市の事業
継続計画（BCP）は、今どのよう
になっているのか。

〔市長〕 リスク分散を図るため、
駿河内、比内、田代の各公民館にサ
テライト・オフィスを設置したほか、
リモートワークによる在宅勤務がで
きる体制も整備している。さらに、
クラスターが発生した場合でも窓口
業務等を継続できるよう、応援職員
を補充するための名簿を整備してい
る。

〔問〕 消防団員の報酬をもつと引
き上げられないか。
〔市長〕 本市では令和3年4月1
日から報酬の段階的な引上げを実施

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。
ここでは、6月定例会の審査の概要をお知らせします。



総務財政常任委員会の様子

総務財政常任委員会

本庁舎建設事業外構工事設計案について

本庁舎建設事業外構工事の設計案について、当局から説明を受けた。設計案では、約100台分の駐車場を確保するほか、

来庁者の安全確保のため、敷地内に路線バスが乗り入れするためのバス専用レーンを設け、出入口を入口専用と出口専用に分離することとしている。障害者

専用駐車場や高齢者のおもいや駐輪場も確保し、バス待合所や駐輪場の設置も検討する。令和6年度秋の完成予定。

ウクライナ避難民の受入れについて

ウクライナ避難民の受入れについて、本市では、秋田県を通して出入国在留管理庁へ受入れの意向ありと報告していると当局から説明を受けた。受け入れた場合、住居の提供、生活・就労支援、保育や教育、医療などの行政サービスの無償提供に加え、本市独自の支援策として生活一時金の支給を行う予定。

その他、消防署北分署庁舎の建設状況、次期大館市総合計画の策定、市職員の定年の引上げなどが報告された。

総括質疑では、大館駅エレベーター新設工事などが取り上げられた。



厚生常任委員会の様子

厚生常任委員会

ニック等へ通院している方へは、片道50～100キロメートル未満では通院1回当たり2000円（上限1万円）、片道100キロメートル以上では通院1回

不妊治療支援について当局から説明を受けた。これまで自由診療とされてきた一般不妊治療、及び生殖補助医療が4月から公的保険の適用となり、治療開始時の女性の年齢が40歳未満の場合は通算6回まで、40歳以上43歳未満の場合は通算3回までが、医療機関窓口での負担額が治療費の10割から3割に軽減される。保険適用前後で不利益が生じないよう、市では窓口での3割負担部分への助成として、治療1回当たり9万円を上限に助成する。県も同様の助成を実施するため、治療費が60万円の場合、自己負担はゼロ円になる。

また、市外のクリ

不妊治療支援について

片道50～100キロメートル未満では通院1回当たり2000円（上限1万円）、片道100キロメートル以上では通院1回

不育症治療の助成も行うほか、不育症治療の支援もこれまでどおり継続する。

教育産業常任委員会



教育産業常任委員会の様子



現地調査の様子（ニンニク栽培）

大館駅インランドデポ推進構想について、推進協議会の設立、東北地方整備局など関係機関との協議が進められていることに併せ、今後の課題や令和7年度供用開始とするスケジュール案などが示された。北海道・北東北の物流の大きな変化を生む取組として期待が寄せられている。

民間企業のデータセンター誘致

では、広大な敷地に加え、豊かな水量、膨大かつ環境負荷に配慮された再生可能エネルギー由来の電力の調達など、これまでの企業誘致とは全く異なるものであることが示された。

インランドデポ、データセンターエネルギー誘致に加え、小麦の試験栽培や園芸メガ団地によるニンニク栽培など、市の産業活性化に向けた新たな取組が進められていることが報告された。

3月に市歴史的風致維持向上協議会で承認された桂城公園修景整備基本計画のスケジュール等を当局から説明を受けた。今年度は実施設計を行い、噴水などの工作物撤去を予定しており、令和5年度は市役所本庁舎北東の臨時駐車場をしなくなつた段階で整備工事に着手する予定。

また、芝生広場には、芝生の色や質を変えて旧大館城の輪郭が浮かび上がるようなしつらえに整えるほか、かつて堀にかかる木橋があつたことから入城するようなイメージで木橋を新設するとしている。

包括的民間委託の取組状況について

道路や河川等の維持管理業務

建設水道常任委員会



建設水道常任委員会の様子

を民間に束ねて発注する包括的民間委託の取組状況について報告を受けた。今年度は十二所地区と比内地域を対象に試行導入を行い、公募型プロポーザル方式で委託業者を選定するとしており、成果を確認しながら段階的に業務を拡大する予定。

3月に市歴史的風致維持向上協議会で承認された桂城公園修景整備基本計画のスケジュール等を当局から説明を受けた。今年度は実施設計を行い、噴水などの工作物撤去を予定しており、令和5年度は市役所本庁舎北東の臨時駐車場をしなくなつた段階で整備工事に着手する予定。

また、芝生広場には、芝生の色や質を変えて旧大館城の輪郭が浮かび上がるようなしつらえに整えるほか、かつて堀にかかる木橋があつたことから入城するようなイメージで木橋を新設するとしている。

全国市議会議長表彰

6月定例会において、議員在職35年・15年・10年の議員に表彰状が伝達されました。

在 職 35 年



伊 藤 豊 議員

在 職 15 年



小棚木 政 之 議員

在 職 10 年



田 村 秀 雄 議員



表彰状伝達の様子

せいむかつどうひ

政務活動費の状況をお知らせします（令和3年度）

政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、大館市議会議員政務活動費の交付に関する条例が定められており、議員1人当たり月1万5,000円が交付されています。これは議員報酬ではなく、市議会議員の調査研究等のために必要な経費の一部として交付されるものです。なお、残余金があった場合は返還することになっています。

○令和3年度

(単位：円)

議員氏	収 入	支 出						支 出 計	市への返還額
		調査研究費	資料作成・購入費	広報広聴費	要望・陳情活動費	人件費	その他経費		
柳 館 晃	180,000	74,661	108,030					182,691	0
石 垣 博 隆	180,000							0	180,000
小棚木 政 之	180,000		153,774				30,627	184,401	0
武 田 晋	180,000		68,362	49,892				118,254	61,746
佐 藤 久 勝	180,000		89,740					89,740	90,260
伊 藤 穀	180,000		47,390					47,390	132,610
日 景 賢 悟	180,000		180,147					180,147	0
阿 部 文 男	180,000							0	180,000
藤 原 明	180,000		44,640					44,640	135,360
田 中 耕太郎	180,000		120,000					120,000	60,000
佐々木 公 司	180,000		75,409				700	76,109	103,891
花 岡 有 一	180,000		42,900					42,900	137,100
佐 藤 眞 平	180,000	65,990	9,990				12,664	88,644	91,356
田 村 儀 光	180,000	151,996		35,000				186,996	0
小 畑 淳	180,000		9,990					9,990	170,010
笛 島 愛 子	180,000		73,512					73,512	106,488
小 畑 新 一	180,000		196,510					196,510	0
斎 藤 則 幸	180,000		45,550					45,550	134,450
岩 本 裕 司	180,000							0	180,000
田 村 秀 雄	180,000	148,323						148,323	31,677
佐 藤 芳 忠	180,000			150,181			27,440	177,621	2,379
富 横 孝	180,000		29,700				69,446	99,146	80,854
明 石 宏 康	180,000			257,674				257,674	0
相 馬 エミ子	180,000		25,379	64,407				89,786	90,214
吉 原 正	180,000		47,525					47,525	132,475
菅 大 輔	180,000		12,082	55,334				67,416	112,584
合 計	4,680,000	440,970	1,380,630	612,488	0	0	140,877	2,574,965	2,213,454

※ 支出合計が収入を超えた分は、議員が自己負担しています。

私もひ・と・こ・と 第47回

み
か
み
二
上

おさむ
治
さん(東新町)



仕事..電気工事関連
家族..妻と母との3人暮らし。
趣味..音楽活動(トランペット演奏等)、
写真撮影(風景等)

「玉手箱を開けた

浦島太郎的自分

♪鳳凰の緑溢れて♪大館市民歌の歌いだしです。私が小学生の時に制定され、今でも旋律は口ずさめます。発展の息吹があふれていた大館を離れたのは、昭和55年3月でした。それから40年、父の他界を機に、40年勤めた会社を辞め、令和2年4月にさいたま市から大館に戻りました。それまで、毎年帰省してはいたものの、まるで新天地での生活が始まったようを感じました。大町のシンボル「正札」デパートがない。秋北バスター「ミナルにバスがない。大町はシャツタ

接種には大いに驚きました。樹海ドームとシャトルバスを活用して、よどみなく、かつ、落ち着いて接種を受けることができました。どなたが発案してこのような体制になつたのか、医療関係者の方々には心から労をねぎらいたいし、献身的な行動にも大感謝です。「大館にはこんな力があるのか!」と感動しました。もちろん、実現可能な環境があつての実績だったとは思います。が、ワクチン接種事業に拍手喝采です。

軽い運動に関しては、自転車でいつもよりちょっと遠くまで行けるような環境があるとよいと思います。大館に帰つてきて間もなく、埼玉県出身の妻も同様に感じたのですが、自転車を活用している成人の数が、圧倒的に少ないということです。

自転車での移動が安全ではない道路事情だからなのだと思いますが、市民の健康を維持する意味で、自転車が安全に走れる道路環境を整備していただきたいと渴望しています。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

編集後記



（佐藤 芳忠 記）

6月定例会より傍聴席の数を制限前の18席に緩和しました。市議会では、引き続き新型コロナウイルス感染の対策を講じていますので、傍聴するかたは、マスクを着用し、議場入り口でアルコール消毒をしてください。

また、せき・発熱などで体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。

興味を他人と共有できるコミュニケーションや、軽い運動が継続しやすい環境が必要と考えます。趣味に関するコミュニティはこれからじっくり探すことにしていますが、「間口が狭いな」と感じています。

軽い運動に関しては、自転車でいつもよりちょっと遠くまで行けるような環境があるとよいと思います。

大館に帰つてきて間もなく、埼玉県出身の妻も同様に感じたのですが、自転車を活用している成人の数が、圧倒的に少ないということです。

自転車での移動が安全ではない道路事情だからなのだと思いますが、市民の健康を維持する意味で、自転車が安全に走れる道路環境を整備していただきたいと渴望しています。

『酒とバラの日々』から『病と薬の日々へ』。私の中学の同期生は仲が良く、コロナまでは毎年数回、同期会をやっていました。還暦前は仕事や子供の話でしたが、65歳を過ぎてからは病気と薬の話になりました。『俺は高血圧や糖尿病で毎日10錠も飲んでるんだぞ』とえばれば、『なによ、私は15錠よ! フン』。と場が盛り上がりります。そして飲み・しゃべり疲れた最後はいつも、『内科の病院が4つもある大館に住んでよかつたな。また病院で会おうな』。との元気な声で開きになります。

傍聴席の緩和について